

デジタルアーカイブin岐阜2024

DXで実現する地域のデジタル人材育成事業

人工知能（AI）人材養成講座

構想中

概要

- 開設時期：2026年4月（予定）
- 名称：人工知能（AI）人材養成プログラム
- 対象：企業の管理職並びにAIにより業務の改善を計画している企業の担当者
- 講座：オンライン（1日）+ e-Learning



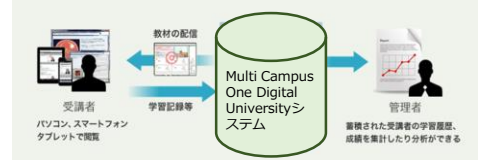
養成する人材像

超スマート社会（Society 5.0）の実現に向け、AIを活用して社会課題を解決し、新たな価値を創造できる人材の活躍が期待されています。世界的にAI人材不足が深刻化するなか、各企業の間で優秀なAI人材の争奪戦が行われており、AI人材育成に対するニーズが高まっています。ここでは、次のような内容でAI人材育成を行います。

AIとは人工知能（Artificial Intelligence（アーティフィシャル インテリジェンス））の略称。コンピュータの性能が大きく向上したことにより、機械であるコンピューターが「学ぶ」ことができるようになりました。それが現在のAIの中心技術、機械学習です。機械学習をはじめとしたAI技術により、翻訳や自動運転、医療画像診断や囲碁といった人間の知的活動に、AIが大きな役割を果たしつつあります。

◆ オンライン研修

新しい社会の Global・Innovationに対応した継続性を必要とした生涯学習の実現のためにe-Learningを基盤としたMulti Campus One Digital Universityシステムによる新しいオンラインの養成プログラムです。



e-Learningの概念図

◆ 人工知能（AI）特講

コンピュータの歴史を振り返り、人工知能（AI）の誕生から現在までの進化を解説します。また、AIが今後どのように教育に活用されるのかについて、展望します。今日のトランスフォーマー革命は機械翻訳の精度を大幅に向上させ、生成AIを誕生させました。生成AI（ChatGPTやGemini等）はAIが人間のような会話を生成できる技術です。今後必要となるのはAI倫理です。正確無比のデジタルアーカイブとAIの両者の一体化と、その活用の仕方が未来の課題だということを理解します。講座の内容は以下の通りです。

講座の内容

テーマ
AIの過去から未来へのプロローグ - 『コンピュータ歴史博物館』が語るAI文化
知能の迷宮を解き明かす-暗号解読とチューリングテストの謎めく挑戦
AI kouza 3 2 1 知識が翼を得る瞬間-知識表現とエキスパートシステムの知の舞台裏
間の脳などと深層学習の魔法 目を持ったコンピュータが見せる未知の領域
シンギュラリティの扉を叩け
機械翻訳の新時代-トランスフォーマー革命と「生成AI」の驚異的進化
AIの過去・現在・未来 - 未来への飛翔 -
人工知能（AI）とデジタルアーカイブの現状と未来
生成AIと学習コンテンツ
AIと人間の学び
人とAIの学習研究から考えるこれからの教育

◆ 新しい生活スタイルの新しい研修スタイル

この人生100年の時代、教育DX時代の社会の到来に対し、これまでの教員の資質からのキャリアチェンジが人々に求められ、これに対応できる教員研修としての高等教育でのリスキリング（Reskilling）が必要となってきました。本e-Learningの学びは、自宅や職場、移動中でも、情報端末（スマートフォンやノートPC等）さえあれば「いつでも、どこからでも、誰とでも」学ぶことが可能です。